

令和 6 年度事業報告について
(令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日)

1 事業の状況

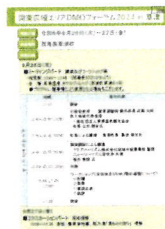
令和 6 年度事業計画に基づき、次のとおり事業を執行しました。

【公益目的事業】

■ 受入態勢整備事業

(1) 人材育成事業

関東広域エリア内の DMO 間における事業内容や方向性及び優良事例についての情報共有、取組内容の改善、相互の連携の確保に繋げることを目的に、国土交通省関東運輸局が開催した「関東広域エリア DMO フォーラム 2024 in 草津」(9/26、9/27) に参加しました。



(関東広域エリア DMO フォーラム 2024 in 草津)

(2) 受入態勢整備事業 (地域観光新発見事業分)

「日本遺産・足袋のまちを『行田足袋』で巡るガイドツアー」において、キーパーソンとなるガイド人材を育成することを目的に、ガイドの基礎として、①ガイドの心得、②ホスピタリティ、③ガイドスキル、④旅程管理の 4 点を中心とした座学での講習及び足袋蔵現地でのフィールドワークを、市内 3 つのガイド団体延べ 27 名参加のもと、11 月 21 日 (木) に実施しました。

【実績】10 月 11 日 : 3 名、12 月 7 日 : 3 名、1 月 17 日 : 8 名、1 月 22 日 : 5 名、1 月 24 日 : 6 名、合計 25 名。



(座学講習の様子)



(フィールドワークの様子)

■ コンテンツ開発・強化事業

(1) 花手水・ライトアップ強化事業

スタートから 4 年半が経過した 3 月末時点の行田花手水 week への参加は約 70 箇所となっております。

また、「ライトアップイベント『希望の光』」においては、行田花手水 week の 1 週目土曜日に開催し、年間来場者は 47,785 人、その経済効果は 111,052 千円となりました。さらに、同イベントは (一社) 夜景観光コンベンション・ビューロー主催の第 19 回日本夜景遺産「ライトアップ夜景遺産」に認定され、第 27 回ふるさとイベント大賞をはじめとした各賞に続き、5 冠に輝きました。

【期間及び集客数】

令和6年4月6日（土）：4,195人、5月4日（土）：5,294人、6月1日（土）：4,495人
9月21日（土）：5,094人、10月5日（土）：2,897人、11月16日（土）：8,890人、
12月7日（土）：11,387人、令和7年2月1日（土）：2,597人、3月1日（土）：2,936人



（忍城址でのライトアップ）

（2）灯籠流し開催事業

8月16日（金）に忍川翔栄橋にて、「灯籠流し納涼大会」を開催予定でしたが、荒天予報により中止となりました。

（3）日本遺産を活用した魅力創出事業

市から旧忍町信用組合店舗の文化財公開事業委託を受けたことに伴い、当法人の観光物産館さきたまテラス等でのノウハウを活かし、レトロなメニューを取り揃えた観光型カフェとして、ヴェールカフェをリニューアルオープンしました。

8～10月及び3月にはテラス席にてビアガーデンを、12～3月には閑散期対策として1階を利用してワークショップを開催しました。



（リニューアルオープンしたヴェールカフェ）

（4）コンテンツ開発・強化事業（地域観光新発見事業分）

● レンタル用雪駄導入事業

「日本遺産・足袋のまちを『行田足袋』で巡るガイドツアー」において、ツアーの魅力を増幅することを目的に、参加者にレンタルするための男性用雪駄を20足、女性用草履を20足導入しました。



（導入した草履）

● 大花手水作成事業

あらゆる国籍や世代の方が楽しめる花手水を制作し、話題性をつくり、集客に繋げることを目的に、忍城址の池（行田市郷土博物館前）を活用した、これまでにない規模感の花手水を11月15日（金）から12月14日（土）までの期間飾りました。



(大水面花の様子)

● 光のデジタルアート空間創出事業

地域への集客増と観光消費の拡大を目的に、本市のシンボルである「忍城」と日本遺産構成資産でもあり足袋と関連が深い「イサミコーポレーションスクール工場」を活用した、プロジェクションマッピング等を11月16日（土）と12月7日（土）の2日間実施しました。

【イベント実績】

- ・ 忍城プロジェクションマッピングショー
 <観覧者数>11月16日（土）：合計3,000名、12月7日（土）：合計4,100名
- ・ イサミコーポレーションスクール工場特別ライトアップ
 <観覧者数>11月16日（土）：合計850名、12月7日（土）：合計1,000名



(忍城プロジェクションマッピングショーの様子)



(イサミコーポレーションスクール工場特別ライトアップの様子)

(5) 体験型コンテンツ造成事業（ふるさと創造事業分）

● 着用体験用甲冑等制作事業

忍城の特性を活かし、戦国時代の雰囲気を感じられる「甲冑体験」を造成することを目的に、参加者にレンタルするための甲冑7体、地下足袋22足等を導入しました。



(導入した甲冑等)

● 忍者体験用衣装等制作事業

忍城の特性を活かし、戦国時代の雰囲気を感じられる「忍者体験」を造成することを目的に、参加者にレンタルするための忍者衣装34着、プラスチック製刀15本等を導入しました。



(導入した忍者衣装等)

● 甲冑及び忍者体験環境制作事業

忍城の特性を活かし、忍城バスターミナル観光案内所に戦国体験館機能を付与することを目的に、着替えスペースや修行道場、侍や忍者の紹介板等を整備しました。



(戦国体験館の様子)

【実績】

- ・甲冑体験 松：14名、竹：16名、梅：5名
- ・忍者体験 松：4名、竹：54名、梅140名

(6) 誘客イベント開催事業（ふるさと創造事業分）

● チャンバラ合戦及び戦国ワークショップ開催事業

忍城において、世代や性別を問わず楽しむことができる「チャンバラ合戦及び戦国ワークショップ」を「行田花手水タウン特別企画 2025」と連携のうえ、実施しました。

【参加数】＜令和6年9月21日（土）＞

合計 200 名 ※戦国ワークショップ（刀づくり体験）：72 名

第1部：72名（大人15名、子供57名）、第2部：58名（大人16名、子供42名）

第3部：70名（大人16名、子供54名）



(チャンバラ合戦開催の様子)

● 忍城おもてなし甲冑隊による忍城を舞台としたイベント開催事業

忍城において、世代や性別を問わず楽しむことができる「花演武」を「行田花手水タウン特別企画 2025」と連携のうえ、実施しました。

【参加数】2日間合計 477 名

＜令和6年11月16日（土）＞

第1部：64名、第2部：64名、第3部：115名

＜令和6年12月7日（土）＞

第1部：46人、第2部：63人、第3部：125人



(花演武開催の様子)

● 人力車運行事業

忍城において、世代や性別を問わず楽しめ、中心市街地の回遊を図れる「人力車」を「行田花手水タウン特別企画 2025」と連携のうえ、実施しました。

【参加数】 4日間合計 82 組

＜令和 6 年 9 月 21 日（土）＞23 組、＜令和 6 年 10 月 5 日（土）＞14 組

＜令和 6 年 11 月 16 日（土）＞21 組、＜令和 6 年 12 月 7 日（土）＞24 組



（人力車運行の様子）

■ プロモーション事業

（1）団体旅行誘致促進事業

6 月 12 日（水）に、旅行会社の企画担当者向けに観光スポット等視察会を開催し、16 社 21 名参加のもと、団体旅行造成に向け、本市の観光スポットや食事処などの周知活動を行いました。

また、旅行会社に対して「食べ歩きチケット（500 円分）」の特典を付与等し、1,620 人の団体旅行客を本市に誘致しました。



（観光スポット等視察会の様子）

（2）各種媒体作成・掲載事業

観光客に対する旅マエの情報発信として、公式ホームページや X、Instagram の投稿等を行いました。

また、「行田豆吉クラブ」と連携し、「行田在来えだまめ」や「行田在来青大豆みそ」を活用した X のフォロー&リポストキャンペーン等を実施しました。

また、旅ナカの情報発信として、お出かけガイド「魅力いっぱい行田」等を増刷したほか、市内グルメを掲載した「行田たびたびグルメ第 4 弾」や、11 月より新たなコンテンツとなった「忍城 SAMURAI 体験」及び「忍城 NINJA 体験」のチラシ作成などを新たに行いました。

さらに、日本遺産構成資産のひとつである忍城の魅力発信を目的に、本市として初めて、パシフィコ横浜にて開催された「お城 EXPO」（12/21、12/22）に出店しました。なお、当イベントへの来場者は 2 日間で 20,754 名でした



（忍城 SAMURAI 体験のチラシ）

(3) 甲冑隊によるおもてなし活動事業

行田市観光PR隊「忍城おもてなし甲冑隊」により、忍城を中心としたおもてなし活動やメディアを通じたプロモーションを実施（110コマ）しました。また、新しい試みとして鈴木館長を招き、ヴェールカフェを利用してトークナイトを開催（9月15日、3月20日）しました。



（甲冑隊によるおもてなし活動）

(4) 地域催事事業

「ライトアップイベント『希望の光』」における忍城出張販売をはじめ、日本女子サッカー公式試合や浦和競馬等催事への出店を行いました。また、10月26日（土）及び10月27日（日）には「日本遺産フェスティバル in 極上の会津（福島県会津若松市）」で、11月24日（日）には「古墳フェス はにコット（大阪府高槻市）」で、2月15日（土）及び2月16日（日）には「日本遺産マルシェ in 京都（京都府京都市）」で本市のプロモーションを兼ねた物産販売を行いました。

【催事内容】

- ・ 忍城出張販売

＜期間＞令和6年4月6日（土）、5月4日（土）、6月1日（土）、9月21日（土）、
10月5日（土）、11月16日（土）、12月7日（土）、令和7年2月1日（土）、
3月1日（土）

＜場所＞忍城址公園

- ・ 日本女子サッカー公式試合 ちふれASエルフェン埼玉 VS 日テレベレーザ

＜期間＞令和6年5月11日（土）

＜場所＞熊谷スポーツ文化公園

- ・ 浦和競馬さきたま杯

＜期間＞令和6年6月19日（水）

＜場所＞浦和競馬場

- ・ 日本遺産フェスティバル in 極上の会津

＜期間＞令和6年10月26日、10月27日

＜場所＞鶴ヶ城体育館

- ・ 古墳フェス はにコット

＜期間＞令和7年11月24日（日）

＜場所＞今城塚古墳

- ・ お城 EXPO

＜期間＞令和7年12月21日、12月22日

＜場所＞パシフィコ横浜

- ・ 日本遺産マルシェ in 京都

<期間>令和7年2月15日、2月16日

<場所>お東さん広場（東本願寺前市民緑地）



（お城 EXPO）



（日本遺産フェスティバル in 極上の会津）

（5）プロモーション事業（地域観光新発見事業分）

● PR チラシ作成事業

「日本遺産・足袋のまちを『行田足袋』で巡るガイドツアー」を市内外に周知することを目的としたPR チラシを、日本語 1,000 部・英語 300 部・中国語繁体字 300 部を作成しました。



（チラシ日本語版）

● Web 広告展開事業

「行田花手水タウン特別企画 2024」及び「日本遺産・足袋のまちを『行田足袋』で巡るガイドツアー」を首都圏在住者に周知することを目的に、バナー掲載を通じた広告配信を行いました。

【実績】

<配信期間>令和6年10月28日（月）～12月7日（土）

<表示回数>8,323,897 回

<クリック数>52,888 回

<クリック率>0.64%



（広告配信に活用したバナー）

● インフルエンサーを活用した情報発信事業

「日本遺産・足袋のまちを『行田足袋』で巡るガイドツアー」において核となる行田足袋の、台湾における認知を高めることを目的に、台湾で人気を博するインフルエンサーを活用し、Youtube による情報発信を行いました。

【実績】

<配信期間>令和6年11月21日～

<表示回数>4,072,727回

<再生回数>275,721回



(配信した Youtube)

(6) インバウンド等に対する情報発信事業（ふるさと創造事業分）

● 国内外への戦略的情報発信事業

台湾の旅行会社向け現地商談会やセールス等を実施することにより、台湾の旅行会社とのネットワークを構築し、団体旅行の誘客を図りました。併せて、OTA サイトへの掲載や広告誘導を通じて、国内外の個人旅行者の誘客を図りました。



(台湾の旅行会社向け商談会)



(OTA への掲載)

● インフルエンサーによる国内向け情報発信事業

国内へのプロモーションを目的に、「行田市観光魅力発信 SNS アンバサダー」に就任している「さいぼん氏」による SNS を活用した情報発信を行いました。

・ Instagram 実績

【配信日】令和6年12月14日（土）～

【動画再生回数】62,238回

・ Tiktok 実績

【配信日】令和6年12月14日（土）～

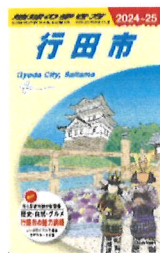
【動画再生回数】34,540回



(配信動画のサムネイル)

● 多言語観光パンフレット作成事業

旅行会社や都内観光案内所、ホテルへのセールス等を目的に、個人旅行のバイブルとして広く親しまれている「地球の歩き方」行田版の日本語（6,000部）及び中国語繁体字（8,000部）、デジタルパンフレットを作成しました。



(地球の歩き方表紙)

【収益目的事業】

■ 物産振興事業

(1) 物産販売事業

観光物産館さきたまテラスでは、古墳関連商品を中心とした物産販売及びわたぼくソフトクリーム等軽食販売を実施しました。また、観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ、ＪＲ行田駅前観光案内所、忍城バスターミナル観光案内所、ショッピングサイト「まるごと行田マルシェ」においても、正会員企業・団体の商品等を販売しました。また、行田市郷土博物館では、御城印を中心とした関連商品の出品を行いました。

【観光物産館売上額】

110,686 千円

■ 観光関連施設管理運営事業

(1) 観光案内所管理運営事業

観光客に対する市内観光案内を通じて、食事処や土産店への送客に努めた他、自主事業として、観光レンタサイクルの貸出しや正会員企業・団体の商品等の販売、ＪＲ行田駅前観光案内所のコインロッカー運営等を実施しました。また、忍城バスターミナル観光案内所に戦国体験館としての機能を持たせ、新たに「忍城 SAMURAI 体験」及び「忍城 NINJA 体験」をスタートしました。

【観光案内所来訪者数】

25,120 人

(2) 文化財公開事業及びヴェールカフェ運営事業

市からの委託のもと、旧忍町信用組合店舗の公開を行いました。併せて、当法人の観光物産館さきたまテラス等でのノウハウを活かし、レトロメニューを取り揃えたカフェとして、ヴェールカフェをリニューアルオープンしました。

【売上高】

13,670 千円

(3) さきたまテラスゾーン管理運営事業

さきたま古墳公園全体の総合案内を行うとともに、桜開花期等繁忙期の交通誘導警備の配置や施設の清掃、自転車・バイク置き場の整理などを実施しました。

【さきたまテラス来訪者数】

198,153 人

(4) はにわの館指定管理事業

市からの指定のもと、はにわの館の管理運営を行いました。併せて、当法人の自主事業として、レンタサイクルの貸出、古墳関連グッズの販売、発掘体験、土笛作り体験を実施しました。

【はにわの館来館者数】

7,212 人

■ 旅行事業

(1) 旅行事業

地域限定旅行業を活用し、地域の魅力を地域目線で発信することを目的に、忍城おもてなし甲冑隊・大将を案内人にして着地型旅行の企画・販売等下記のとおり行いました。

【開催日時・旅行内容等】

- 4月21日（日）「城代が案内！ぎょうだ」 6名参加
- 6月1日（土）「城代が案内！忍城ガイド」 29名参加
- 7月6日（土）「提灯、日本遺産、七夕パーティー」 11名参加
- 7月28日（日）「浮き城まつり甲冑隊応援企画」 11名参加
- 9月15日（日）「甲冑隊トークナイト」 16名参加
- 12月22日（日）「城攻めコース（清原紅蓮隊）」 18名参加
- 2月13日（木）「日本遺産の日 足袋蔵めぐり」 12名参加
- 3月20日（木）「甲冑隊トークナイト第二弾」 9名参加

(2) 観光ガイド紹介事業

旅行事業の一環として観光ガイドの案内をしました。地域の観光資源を活用し、来訪者に対して歴史・文化・自然などの魅力を丁寧にご案内することで、観光客の理解と満足度の向上を図りました。今後も引き続き、質の高いガイドサービスの提供に努め、観光客の満足度向上と地域の活性化を目指してまいります。

【ガイド実績】

60回、591名

■ その他事業

(1) レンタサイクル事業

観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ、JR行田駅前観光案内所、忍城バスターミナル観光案内所、はにわの館の4箇所において、レンタサイクルの運営を行い、シティサイクル1,808台、クロスバイク41台、電動アシスト522台を貸し出しました。

【レンタサイクル利用者数】

2,371人

(2) 誘客イベント開催事業

遊び感覚で気軽に、子供から大人まで楽しみながら忍城を観光してもらうことを目的に、リアル謎解きゲーム「忍城に眠る謎」を開催しました。10月からは、埼玉古墳群を舞台としたリアル謎解きゲーム「古代の王が遺した幻の秘宝」も開催しました。

【謎解き参加者数】

忍城：1,243組、埼玉古墳群：520組

【その他】

(1) 御墳印を核とした広域周遊促進事業

古墳を観るだけでなく、集める、巡るという新たな楽しみ方を提供し、古墳観光の裾野を拡大することを目的に、行田市と当法人が中心となり、御墳印を通じた地域周遊を図っています。

今年度は、茨城県石岡市、大阪府八尾市、岐阜県富加町、岐阜県本巣市、京都府長岡京市の4市1町が新たに参画し、8県17市町となりました。

行田市の2024年販売数（さきたまテラス、はにわの館）は2,460枚でした。

【参画地域】

<埼玉県>

熊谷市、羽生市、久喜市、東松山市、深谷市、吉見町、加須市、川越市

<関東地方 ※埼玉県を除く>

茨城県石岡市

<中部地方>

長野県千曲市、岐阜県富加町、岐阜県本巣市、愛知県名古屋市、愛知県犬山市

<近畿地方>

三重県明和町、大阪府八尾市、京都府長岡京市



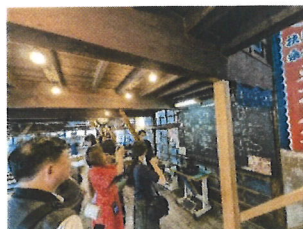
(埼玉古墳群の御墳印)

(2) 埼玉県及び（一社）埼玉県物産観光協会との連携事業

以下のとおり、埼玉県物産観光協会主催のFAMツアー等を受入れ、旅行会社等に直接セールスを行いました。

【受入FAMツアー等】

- 台湾旅行社 B to B 商談会&交流会
日時：令和6年10月6日（日）
視察先：田んぼアート、足袋とくらしの博物館、ヴェールカフェ、行田八幡神社 他
視察者：東南旅行社、吉光旅行社、旅遊家行社、喜鴻旅行社、五福旅行社 他
- タイ旅行会社等FAMツアー
日時：令和6年11月16日（土）
視察先：行田八幡神社、忍城、忍城バスターミナル観光案内所
視察者：Jeducation Travel、Doso Travel、FUN! JAPAN 他
- アメリカメディア・インフルエンサー招請ツアー
日時：令和6年12月12日（木）
視察先：郷土博物館、水城公園、埼玉古墳群、行田八幡神社、イサミコーポレーション 他
視察者：japan-guide.com（メディア）、Tokidoki Traveller（インフルエンサー）



(台湾旅行社 B to B 商談会&交流会の様子)

2 KPI（経営指標）の達成状況

<観光振興>

項目 (単位)	R 6 年度		
	目標	実績	達成率
観光消費額 (千円) *1	1, 622, 000	2, 249, 492	138. 7%
主要観光施設入込客数 (人)【暦年】 *2	765, 000	869, 235	113. 6%
観光案内所来訪者数 (人)	31, 000	25, 120	81. 0%
団体旅行送客数 (人)	5, 150	1, 620	31. 5%
延べ宿泊者数 (人)【暦年】	41, 000	52, 816	128. 8%
来訪者満足度 (%)	45. 0	63. 3	140. 7%
リピーター率 (%)	55. 0	58. 5	106. 4%
HP レビュー数 (回)	1, 591, 000	1, 361, 393	85. 6%
Instagram フォロワー数 (フォロワー)	5, 300	5, 600	105. 7%
X フォロワー数 (フォロワー)	17, 700	21, 300	120. 3%
レンタサイクル貸出数 (台) *3	3, 100	2, 371	76. 5%
着地型旅行商品売上額 (千円)	910	543	59. 7%

*1 宿泊消費額、飲食消費額、土産消費額により算出

*2 郷土博物館、古代蓮の里、古代蓮会館、さきたま史跡の博物館、はにわの館、観光物産館さきたまテラス、古墳フェスティバル、観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ、ヴェールカフェ、行田八幡神社、希望の光の延べ入込客数より算出

*3 JR 行田駅前観光案内所、忍城バスターミナル観光案内所、観光物産館ぶらっと♪ぎょうだ、はにわの館における延べ貸出数により算出

<店舗>

項目 (単位)	R 6 年度		
	目標	実績	達成率
観光物産館売上額 (千円)	81,000	116,170	143.4%
観光物産館来館者数 (人)	93,000	230,837	248.2%

3 メディア掲載実績

掲載メディア	掲載回数	内容
TBS「ひるおび」(9月5日)	1回	観光物産館さきたまテラス
読売新聞(9月21日)	1回	行田のにんにく餃子
・読売新聞(4月13日) ・NHK「サタデーウォッチ9」(6月8日) ・読売新聞(9月26日) ・埼玉新聞(11月19日) ・東京新聞(11月29日)	5回	・行田花手水 week 及び希望の光 ・行田花手水タウン特別企画 2024
テレビ埼玉「いまドキッ!埼玉」(5月25日)	1回	御墳印
テレビ埼玉「いまドキッ!埼玉」(11月23日)	1回	忍城 SAMURAI 体験
合計		9回

4 会議の開催状況

<令和6年度第1回理事会>

期日: 令和6年6月24日(月) 14:00~

場所: 行田市商工センターホール

議事: 議案第1号 令和5年度事業報告について

議案第2号 令和5年度収支決算及び監査報告について

議案第3号 役員の選任について

議案第4号 行田 DMO 戦略プランについて

<令和6年度第1回定社員総会>

期日: 令和6年6月24日(月) 15:00~

場所: 行田市商工センターホール

議事: 議案第1号 令和5年度事業報告について

議案第2号 令和5年度収支決算及び監査報告について

議案第3号 役員の選任について

議案第4号 令和6年度事業計画(案)について

議案第5号 令和6年度収支予算(案)について

議案第 6 号 行田 DMO 戦略プランについて

<令和 6 年度第 2 回理事会>

期日：令和 6 年 12 月 23 日（月）13:30～

場所：行田市商工センターホール

議事：議案第 1 号 令和 6 年度事業の中間報告について

<令和 6 年度第 1 回臨時社員総会>

期日：令和 6 年 12 月 23（月）14:00～

場所：行田市商工センターホール

議事：議案第 1 号 令和 6 年度事業の中間報告について

<令和 6 年度第 3 回理事会>

期日：令和 7 年 3 月 17 日（月）14:30～

場所：行田市商工センタ 402 研修室

議事：議案第 1 号 令和 7 年度事業計画（案）について

議案第 2 号 令和 7 年度収支予算（案）について